

# つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和6年度) 2024年

9	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	12	21	土	8:30	1300	五味ヶ谷市民の森	18名
活動名称	門松教室					報告者：吉井 優	

## 1、活動目的

私達が市民管理協定で整備している五味ヶ谷市民の森は、竹林と雑木林からなり、近隣住民の散策路として親しまれています。この森を子供たちに積極的にアピールし、楽しさを通して森の大切さを理解してもらいます。市民の森の竹林で発生する竹を有効利用する目的で、門松教室を実施しています。家族で協力して門松を作ることで、家族の絆が深まり、地域の方々とのふれあいもできます。杉下地域支え合い協議会、広域親子劇場比企北いるまにも協力していただき、地域との連携を図ります。

## 2、活動内容ほか

コロナ騒動が終わりましたが、準備・片付けが楽なこともあり、五味ヶ谷市民の森を会場に開催しました。いつもどおり、寒さ対策として、ドラム缶で竹を燃やしました。暖をとる貴重な熱源として好評でした。9時少し前から受付開始し、受付をすました参加者に手伝ってもらい、会場の準備を行いました。9時半から開会式を行い、イベントの説明、門松の作り方を説明しました。10時ごろから門松づくり開始です。竹選びから始めました。3本の竹をそれぞれ好みの長さに切断し、15cmの畳表で包み、縄で結びます。これを左右に1組ずつ作ります。

これに松と梅と南天と紙飾りをさして門松が完成します。11時半過ぎにほぼ全員の門松が完成し、集合写真を撮って後、全員で後片付けをして、12時にはイベント終了となりました。

## 3、評価：

45組の募集でしたが、44組受けました。子供67名、大人54名の体験となりました。今年は竹置き台を増加したことで不満が出ることなく、皆さん笑顔でイベントを終了できました。大勢の方が参加してくれましたが、混乱することなく、イベント終了後、参加者が満足して帰宅してくれて、スタッフも大満足です。

## 4、課題

昨年不評だった自作のイグサ縄から市販の藁縄に変えたが太くて巻きづらかった。12月に入ってからカインズに藁縄を買いにいったら、二分の藁縄がなく、2、5分しか入手できなかった。来年は早くから縄を入手するか、注文して2分の縄を手に入れることとする。

参加者にとって、相談や質問するスタッフが不明ではないかとの意見があり、各ホワイトシートに各一名は、責任者を決めておいたらの意見があり、来季に検討する。

門松教室もマンネリ化しており、新鮮さが欲しいとの意見あり。自由に提案してください。

門松教室は、指導員とスタッフ謝礼が多く支給されるイベントです。より多くの会員に参加してもらいたいです。

### <里山参加会員>

木部、小嶋、牛島、柳川、井上、石川、金、吉富、石樽、阿部、杉山、小沼、小澤邦吉井、松井、佐野英、上見、田中、

<活動写真>

